

ベトナムAn Phat Holdings社製生分解性樹脂発売

国際基準に準拠、レジ袋やカトラリー、農業用マルチにも展開可能

(株)兼松KGK

デンマークのコロナ処理機メーカーである VETAPHONE 社の代理店としても知られている(株)兼松 KGK (新規事業開発ユニット GX 推進部、東京都中央区京橋 1-7-2 TEL.03-5579-5880、<http://www.kgk-j.co.jp/>) は、ベトナムのプラスチックメーカーである An Phat Holdings (以下、アンファット社、Pham Anh Duong 会長、<https://anphatholdings.com/>) が製造する「PBAT (ポリブチレンアジペートテレフタレート)」をはじめとした生分解性樹脂を輸入し、日本国内の樹脂加工業者に向けて販

売する。2020 年 7 月からレジ袋の有料化が義務付けられたが、これに伴い有料化の対象外とされる生分解性樹脂や含有率 25% 以上のバイオマス樹脂を使用したレジ袋に注目が集まっている。兼松 KGK はこうしたマーケットに着目して、アンファット社製の PBAT を使用したレジ袋をはじめ、PLA (ポリ乳酸) を使用したストロー、スプーン、フォークなどのプラスチックカトラリー、PBS (ポリブチレンサクネシート) を使用した漁網などの普及を目指していく。

(株)兼松KGK 蛭田英紀

ベトナム国内のコンポスト需要の増加

アンファット社は 2002 年創業のベトナムのプラスチックメーカー。包装用単層フィルムの成膜や製袋から始まり、ベトナム国内にフィルムや規格袋、レジ袋を供給している。ベトナムでの経済成長が加速するにつれ、近年、国内で急激に増加するゴミ問題がクローズアップされている。また、ベトナム国内需要に加え環境対策への意識が高い欧米への輸出を増やすため、22 年末にはハイフォン市に PBAT 樹脂の専用工場を新設するなど、今や PBAT 製造



新規事業開発ユニット
GX 推進部
前川権也さん

は同社の主力事業となりつつある。

「工場の新設にあたってアンファット社がコンタクトを取って来たのが最初の出会いでした。PBAT をはじめとする生分解性プラスチックは日本ではあまり見かけない樹脂ですが、今年 4 月よりプラスチック資源循環促進法が適用され、既存のプラスチック製品は代替材への転換が促進されることもあり、日本でも需要があるのではないかと思います、取り扱うことを決めました。またアンファット社も日本への生分解性プラスチック製品の販売チャンネルがなかったことから快諾していただきました。」(兼松 KGK の新規事業開発ユニット GX 推進部 前川権也さん)



アンファット社 PBAT フィルムの生分解の様子



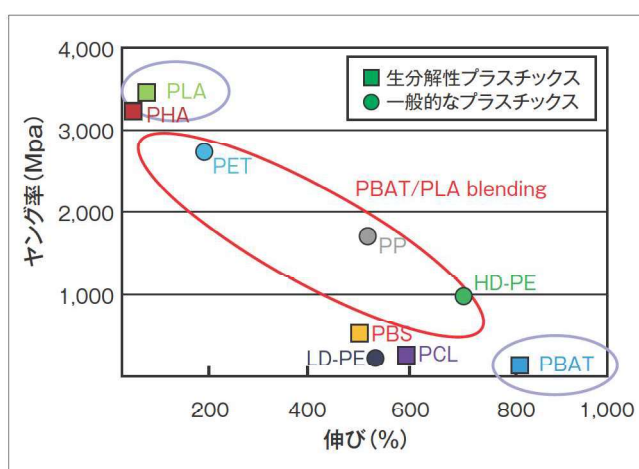
アンファット社 PBAT 樹脂製品

ベトナムイオンでもPBATの袋が採用

アンファット社製 PBAT の生分解性能はヨーロッパの国際基準に準拠しており、European Bioplastics（欧州バイオプラ協会）が発行する「Seedling Logo」や TUV AUSTRIA が発行する「OK Compost HOME」「OK Compost INDUSTRIAL」の認証を受けている。

アンファット社では PBAT によるレジ袋などの包装類、PLA のストロー、スプーン、フォークなどのプラスチックカトラリーなどを製造し、現在では 50 カ国へ輸出の実績がある。

「日本国内のお客様に紹介するのに国際認証機関から数多くの認証を得ているのは大きな魅力でした。PBAT はポリエチレンのような柔らかい樹脂ですので、既存のビニール袋の代替材としての展開がメインになります。イオンの現地法人であるベトナムイオンでは、野菜売り場で袋詰めするのに使用するミシン目ロール袋などに PBAT が採用さ



汎用樹脂とアンファット社製の生分解性プラスチック (PBAT, PLA, PBS) の物性比較

れています。日本と異なり海外では量り売りが主流であり、そうした場でも PBAT の袋の導入が増えています。また最近では農業用のマルチフィルムなどへの展開も進んでいます。」(前川さん)。

現在ではアンファット社製の生分解性プラスチックはレジンベースでの生産量は年 6,000 トンを超え、包装のみならず前述した農業用資材やカトラリー、漁網などの用途にも展開が広がっている。兼松 KGK では 22 年度中には日本バイオプラスチック協会に入会して、グリーンプラマークの取得を目指し、アンファット社製の PBAT の袋などを提供する一方、レジンベースでの調達・提供も行い、多様なニーズに応じていく。



アンファット社 製造ライン